

北九州市みらい学校デザインの着手について

1 これまでの経緯について

- ・ 令和7年1月 総合教育会議 「北九州市型みらい教育デザイン」の発表
- ・ 令和7年11月 常任委員会報告 「新たな時代の教育デザインの構築について」
- ・ 令和7年12月 総合教育会議 「新たな学校のイメージ」の具体化
- ・ 令和8年6月 X 方針報告 (課題C)「新たな時代の教育デザイン」

2 「みらい学校デザイン」の詳細

① なぜ、いま「みらい学校デザイン」が必要なのか

- ・ 学校を取り巻く社会課題の複雑化+様々な特性を持つ子どもたちの多様性など
⇒ これまでの教育のあり方を変化させる必要性
- ・ 「みんな一緒に、同じペースで、同じこと」⇒「それぞれのペースで、自分の学びに」

② 「新しい学び」

- ・ 子どもの理解度等に応じた学び、個々の興味関心を踏まえた自分なりの価値観・哲学
⇒ 「個別最適な学び」
- ・ 多様な人材との協働、他者への思いやりや多様性の理解⇒ 「協働的な学び」
- ・ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる
⇒ 「正解のない」と言われる時代を生きる力の育成

③ 小中一貫教育

- ・ 9年間を見通した系統的・連続的な教育⇒ 学習意欲・学力向上、よりきめ細やかな学習支援
- ・ 異学年交流⇒ コミュニケーション能力の向上、自尊感情・思いやり・助け合いの心の醸成
- ・ 小中の教員連携⇒ 個々の状況に応じた継続的な指導・支援
- ・ 小中ギャップの解消

④ 具体の学校施設イメージ（施設一体型小中一貫校）

- ・ 学校の中心に配置する「マルチメディアセンター（学校図書館）」
- ・ 広いスペースと様々なアウトプット的手段により多目的な活動と学びを広げる「普通教室」
- ・ 教職員のウェルビーイングを高め、働きやすさと働きがいを生む「教職員ラウンジ」

3 今後の進め方について

○ 候補エリア選定

- ・ エリアの特性（①教育効果、②地域連携支援体制、③コミュニティハブ機能など）を参考に10エリア程度の候補地を選定

○ モデルエリア決定

- ・ 候補エリアからの提案や協議及び第三者による検討会から意見を聴取し、モデル校として整備する1～2エリアを決定

○ 基本計画→基本設計→実施設計→建設→開校（令和14年度目途）

別添資料

KITAKYUSHU
北九州市
みらい学校
デザイン
FUTURE SCHOOL DESIGN

なぜ、いま「みらい学校デザイン」が必要なのか。

こどもたちを取り巻く
社会環境の変化、複雑化

DX化

少子
高齢化

グロー
バル化

多様化

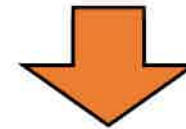


教育のあり方の転換

これまで みんな一緒に、同じペースで同じことを。

一斉授業

教員中心の知識を伝授する学習



今、これから

それぞれのペースで、自分の学びを。

個別最適な学び

協働的な学び

なぜ、いま「みらい学校デザイン」が必要なのか。



個別最適な学び

様々な授業形態によって
一体的に充実



協働的な学び

➡ 正解のない時代に生きる力

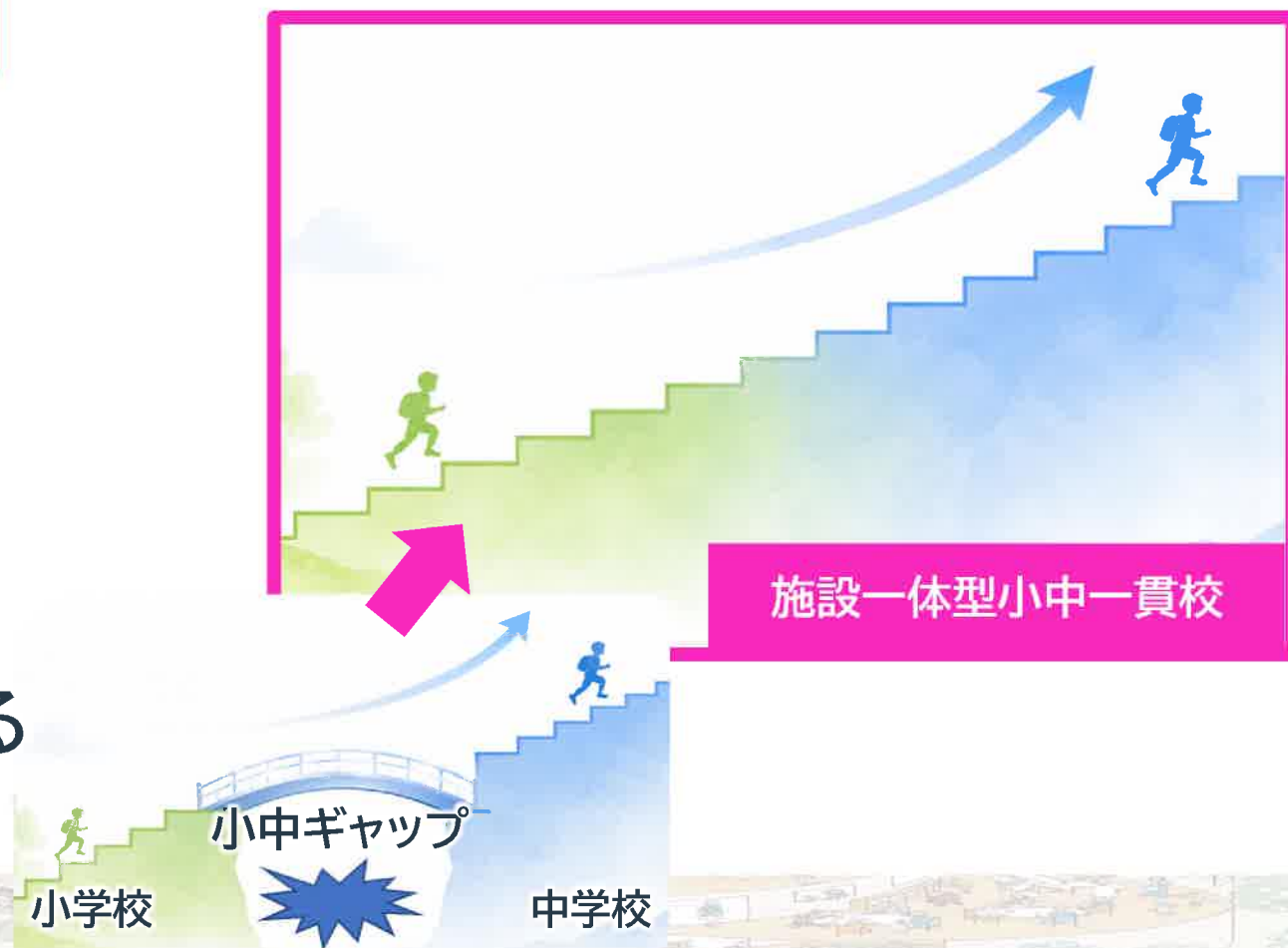
自ら進んで学び続けることも

「伸びしろ」のあることも

小中一貫教育

小中一貫(9年間)の
切れ目ない学び

小・中学校教員が、
チームを組み
継続的な学びを支える





みらい学校デザインでつくる「新しい学校」

新しい学び



小中一貫
教育



新しい
学校施設

◎3つの相乗効果により

学校を多様で魅力的な教育環境へアップデートする

クラス・学年の壁を超える
多様な出会いや
学びの場

探究する力・
価値を創造する力の
育成

各教室へ容易に
アクセス可能

読書の場の充実
(電子書籍やミニシアター)

イメージ①(マルチメディアセンター)
学校の中心に「知の拠点」を設置

教室と廊下を一体的に利用

広々とした学習空間で
多様な学習形態を実現

自由にチェンジ

フレキシブルな
レイアウト転換

壁面活用
(ホワイトボードなど)

多様性

一人用ブース

イメージ②(普通教室)
ひとりひとりにあった学びができる空間

探究学習や
STEAM教育を充実

企業・大学・地域と連携
した探究学習の充実

創造の場

本物を
体験

イメージ③STEAMラボ(特別教室)
最先端機器を設置し、教科横断的な学びを実現

こどもの学びの質を向上
教職員の
ウェルビーイング

仕事がスムーズに
ICTを活用した
効率化・専門性向上

セミプライベート
エリア
打ち合わせスペース

オープンエリア
こどもと交流できる
スペース

プライベートエリア
教職員の執務や
休憩スペース

イメージ④(教職員ラウンジ)
ひとつのチームとしてパフォーマンスを最大化

こどもと地域がつながる拠点



みらい学校デザイン・モデル校への選定プロセス

